

大山隠岐国立公園満喫プロジェクト 地域協議会

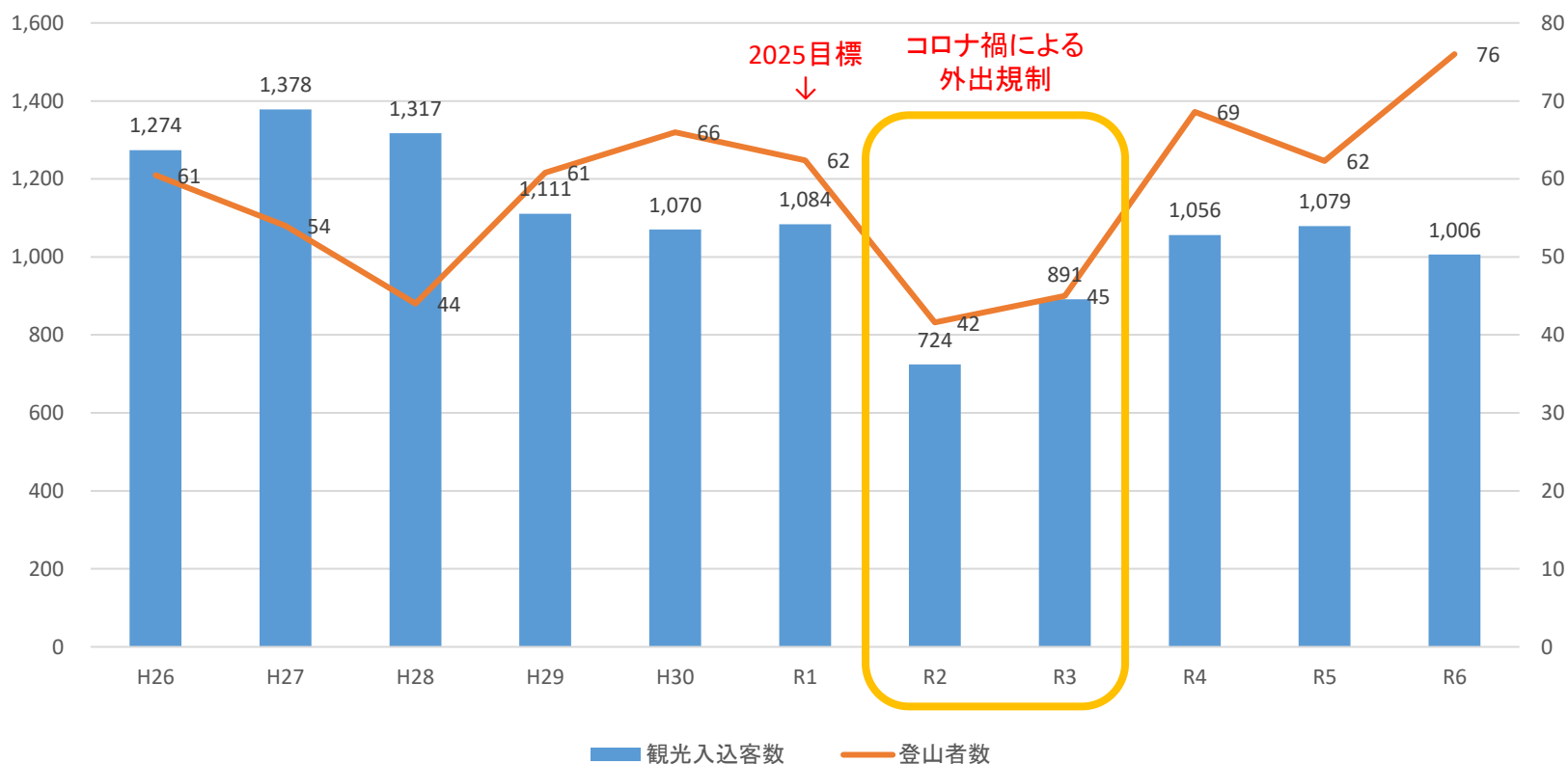
鳥取県における取組状況



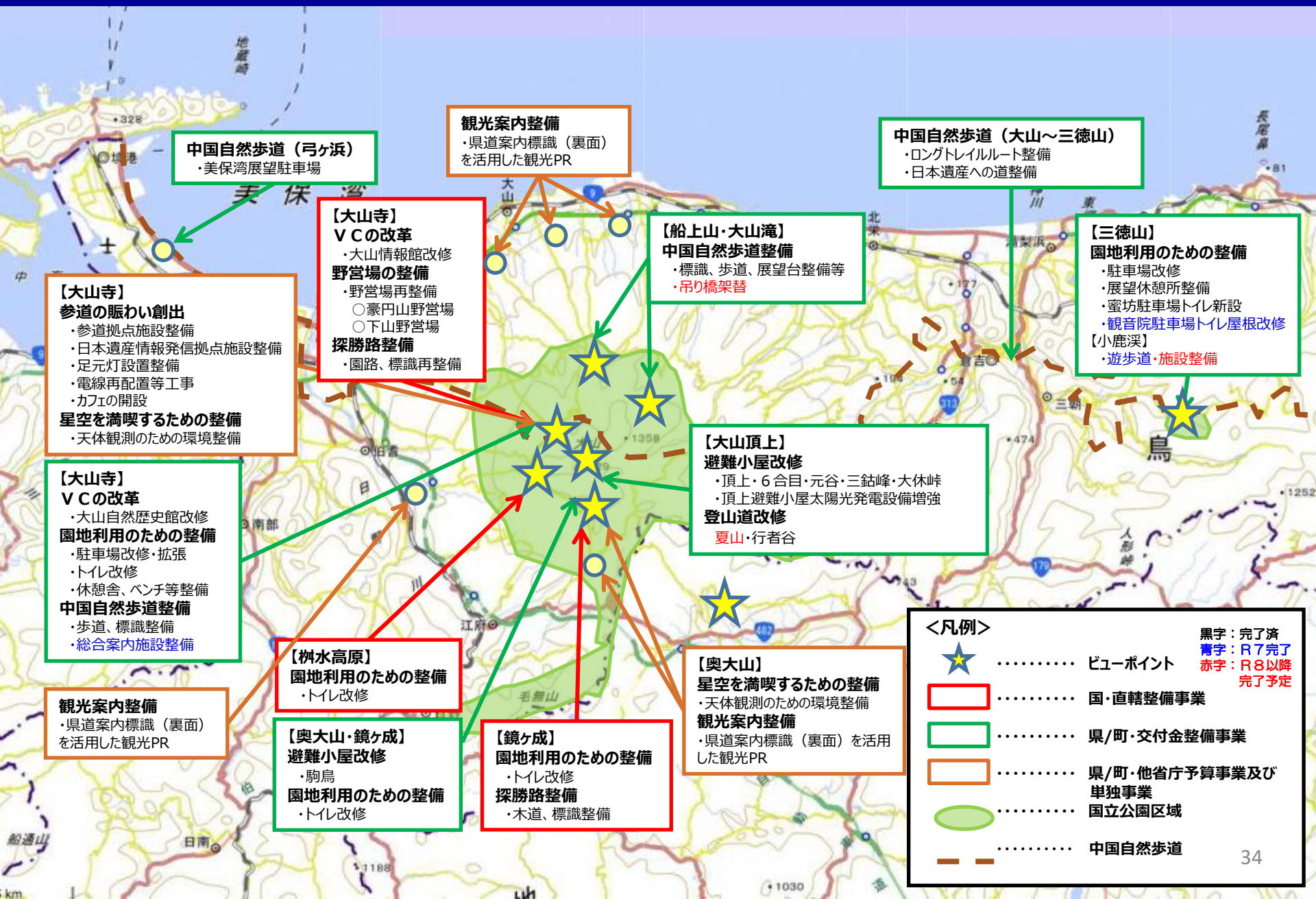
大山周辺観光入込客数・大山登山者数の推移

・新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年及び令和3年は観光入込客数、登山者数ともに大きく減少したものの、令和4年以降は回復傾向にある。登山者数においては、コロナ禍以前と同等以上に回復した。

大山周辺観光入込客数・大山登山者数の推移 (単位：千人)



大山・三徳山エリア施設整備状況



中国自然歩道 (弓ヶ浜)
・美保湾展望駐車場

観光案内整備
・県道案内標識 (裏面) を活用した観光PR

中国自然歩道 (大山～三徳山)
・ロングトレイルルート整備
・日本遺産への道整備

**【大山寺】
V Cの改革**
・大山情報館改修
野営場の整備
・野営場再整備
○ 豪円山野営場
○ 下山野営場
探勝路整備
・園路、標識再整備

**【船上山・大山滝】
中国自然歩道整備**
・標識、歩道、展望台整備等
・吊り橋架替

**【三徳山】
園地利用のための整備**
・駐車場改修
・展望休憩所整備
・蜜坊駐車場トイレ新設
・観音院駐車場トイレ屋根改修
【小鹿溪】
・遊歩道・施設整備

**【大山寺】
参道の賑わい創出**
・参道拠点施設整備
・日本遺産情報発信拠点施設整備
・足元灯設置整備
・電線再配置等工事
・カフェの開設
星空を満喫するための整備
・天体観測のための環境整備

**【大山頂上】
避難小屋改修**
・頂上・6合目・元谷・三鉢峰・大休峠
・頂上避難小屋太陽光発電設備増強
登山道改修
夏山・行者谷

**【大山寺】
V Cの改革**
・大山自然歴史館改修
園地利用のための整備
・駐車場改修・拡張
・トイレ改修
・休憩舎、ベンチ等整備
中国自然歩道整備
・歩道、標識整備
・総合案内施設整備

**【榎水高原】
園地利用のための整備**
・トイレ改修

**【奥大山】
星空を満喫するための整備**
・天体観測のための環境整備
観光案内整備
・県道案内標識 (裏面) を活用した観光PR

観光案内整備
・県道案内標識 (裏面) を活用した観光PR

**【奥大山・鏡ヶ成】
避難小屋改修**
・駒鳥
園地利用のための整備
・トイレ改修

**【鏡ヶ成】
園地利用のための整備**
・トイレ改修
探勝路整備
・木道、標識整備

<凡例>

- ★ ビューポイント
- 黒字 : 完了済
- 青字 : R7完了
- 赤字 : R8以降完了予定
- 国・直轄整備事業
- 県/町・交付金整備事業
- 県/町・他省庁予算事業及び単独事業
- 国立公園区域
- 中国自然歩道

観光客等の受入れに向けた環境整備

【大山周辺①】

- ・大山開山1300年祭及び第3回「山の日」記念全国大会の開催のため、先行して平成30年度までに、大山寺周辺の観光施設の整備、トイレの洋式化等の受入れ環境整備を実施。
- ・令和元年度以降、頂上避難小屋などの重点施設の大規模改修等を実施。
- ・令和6年度には、南光河原駐車場内の総合案内施設整備に係る詳細設計、頂上付近の木道改修工事等を実施。
- ・令和7年度には、総合案内施設整備が完了、頂上付近の木道改修工事等(～令和11年度)を実施、大山滝吊橋架替工事(～令和11年度)に着手。



頂上付近の木道改修を実施



令和7年度に総合案内施設の整備が完了
令和8年4月25日(土)開所式開催予定

観光客等の受入れに向けた環境整備

【大山周辺②】

- ・頂上避難小屋内の通信環境改善の取組として、主要キャリアの電波改善装置(レピータ)を設置。
※レピータ：屋外の電波を引き込み増幅させることで、屋内の電波環境を改善する機器

キャリア	設置状況	経緯等
NTTドコモ	○(R3秋 設置完了)	R3年度に協議
KDDI	○(R7春 設置完了)	R6年度に協議・設置申込
ソフトバンク	×	設置検討依頼・同社で検討中

【三徳山周辺】

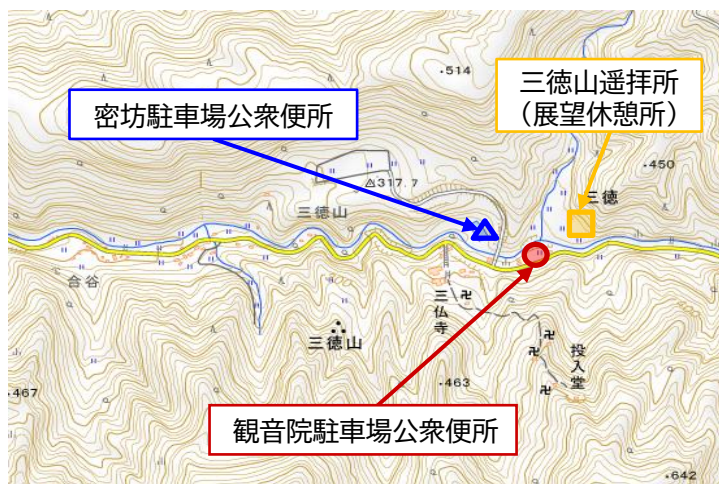
- ・これまでに、三徳山来訪者の利便性向上のため三徳山遥拝所(展望休憩所)、密坊駐車場公衆便所の整備等を実施。台風7号の影響によって、全域にわたり遊歩道の崩落、消失、流木・倒木等が発生した「小鹿溪探勝線」について、令和6年度に災害復旧工事を完了。令和7年度には多言語案内看板を整備。
- ・老朽化が進んでいる観音院駐車場公衆便所の屋根を令和7年度に全面改修。



密坊駐車場公衆便所



観音院駐車場公衆便所
(令和7年度改修)



密坊駐車場公衆便所

三徳山遥拝所
(展望休憩所)

観音院駐車場公衆便所



投入堂

三徳山遥拝所(展望休憩所)

持続可能な保全への取組 ～入山協力金の実施～

- ・登山道の補修やトイレの維持管理には多額の費用が必要
→大山の環境保全と持続可能な利用につなげるため、費用の一部を登山者に負担いただく仕組み（大山入山協力金）を導入し、継続して実施。

〔令和元年度～令和3年度〕環境省、大山町との共同社会実験、制度検討に向けたアンケート、実証事業を実施。

〔令和4年度〕大山山岳環境保全協議会を設立の上、電子決済(スマホ等によるQRコード読取等)を追加するなどして本格導入。

〔令和5年度〕募金開始時期の前倒(募金期間延長)、広報の一層の強化(各所への掲示物の設置など)を実施。

〔令和6年度〕募金箱設置場所の拡充、ポスターの作成・掲示、夏山開き前夜祭で制度周知・募金箱設置などを実施。

【令和7年度】

募金箱設置場所の拡充、大山夏山開き前夜祭のイベントブース等における制度周知・募金箱設置などの促進策を効果的に実施

- (1)実施期間 令和7年4月26日(土)～12月31日(水)
- (2)協力金の使途 登山道の維持管理、植生の保護、トイレの維持管理等
- (3)実施内容

①金額 大山登山1回につき500円、または年間定額3,000円

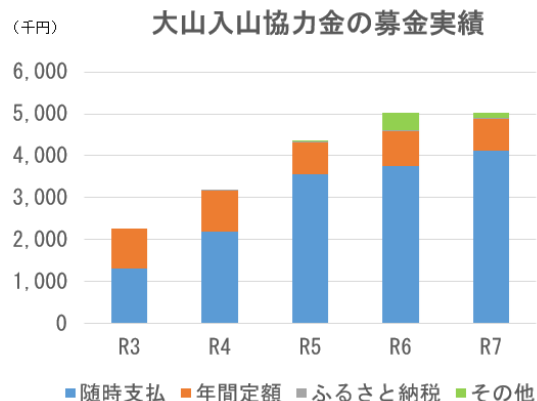
②収受方法 募金箱(随時支払)、窓口(定額支払)、電子決済
※募金箱は大山頂上避難小屋売店、大山NPC1階窓口、大山自然歴史館(R6～)に設置

③返礼品 記念カード、梨の木キーホルダー

- (4)協力金額 **5,014,572円(前年比100.0%)、協力率12.1%(前年比101.1%)**

金額内訳 募金箱・窓口:4,856,855円(96.9%)、電子決済:24,500円(0.5%)、ふるさと納税他:12,000円(0.2%)、その他121,217円(2.4%)

※500円:8,393件/4,237,572円、3,000円:259件/777,000円



登山者数の増加と広報活動により募金額は年々増加。

令和8年度以降については、協力率の向上に向けて以下の対策を実施予定

- ①募金箱設置場所の拡充(総合案内施設等)
- ②登山者動線におけるポスター掲示等による制度周知
- ③HPでの実績等公表
- ④夏山開き祭等のイベントブースでのPR

鳥取キャンプ「とりキャン」の魅力発信

○鳥取キャンプ「とりキャン」の魅力为全国へ発信し、キャンプ目的の来県者に対して、県内周遊観光・地域消費の拡大を図るため、国内最大級のキャンプ場検索予約サイト「なっぷ」と連携し、キャンパーの検索行動から予約行動までをつなぐ情報発信を実施。



Webサイトを核とした情報発信

【内容】(R3年度～)
キャンプ場情報サイト「とりキャン」を開設。検索機能の追加や個別ページ作成などのリニューアルを行うとともに、キャンプ場の魅力を発信する『とりキャンアンバサダー』の任命やSNS広告を活用し、検索から予約までを意識した情報発信を展開。

【成果】
①検索～予約までの導線が確立し、鳥取でキャンプを探す人の“受け皿”として定着
②「鳥取 キャンプ」等で検索上位を維持し、自然検索からの安定した流入および予約ページ遷移率(CTR)高水準を維持

事業者連携(とっとりキャンプサミット)

【内容】(R7年度～)
県内キャンプ場を対象に「とっとりキャンプサミット」を開催。キャンプ市場の動向やSNS活用事例、予約データ等を共有するとともに、事業者同士の意見交換の場を設け、県内キャンプ場の連携を強化。

【成果】
①市場動向や課題を共有し、県内キャンプ場間のネットワークを形成
②サミット後、自主的な視察等が実施され、連携の具体的な動きが創出

利用環境のレベルアップ(補助事業)

【内容】(R4～6年度)
キャンプ場の魅力向上および利用環境の充実を目的として、「鳥取県キャンプ場利用環境改善支援事業補助金」を実施。補助率1/2(上限200万円)により、施設・設備の新設や改修を支援した。

【成果】
①入浴施設・シャワー室・炊事棟等の整備が進展
②冬期対策を含む受入環境の向上により、快適性・通年利用対応を強化

これまでに構築した情報発信基盤と受入環境の充実を生かし、キャンプを切り口とした県内周遊観光の促進および地域消費の拡大を図る。

大山隠岐国立公園指定90周年記念イベント

令和8年秋頃 記念フェスティバル（検討）

博労座駐車場

ステージショー

- ◆タレントやユーチューバーのステージイベント

飲食ブース

- ◆大山の恵みを食す

ブース展示・ワークショップ

- ◆国立公園の取組紹介、登山グッズ販売等

登山道・山頂

サステナブルイベント

- ◆登山道修繕、山頂木道下のクリーンアップ等

トレッキングツアー

- ◆出演者と行くトレッキングツアー

令和8年度 3県連携イベントの概要（検討）

※島根県、岡山県、鳥取県で連携したイベントの開催を検討

■デジタルスタンプラリー

- 開催期間:6月～11月
- 国立公園内にスタンプ箇所
- 景品:宿泊補助券や地域の特産品



島根

鳥取

岡山

■クイズ(鳥取県のみ)

- 開催期間:6月上旬～12月下旬
- クイズに正解して景品ゲット
- 景品:鳥取県版トレーディングカード



■フォトコンテスト

- 開催期間:6月上旬～12月下旬
- 美しい景観やイベントの写真を募集
- 景品:地域の特産品



■その他取組

- 各縣市町村のイベントを関連イベントとして紹介

その他の取組(1)

地区	取組概要	実施主体	2025年度取組状況
大山寺・大山山頂	大山の自然環境への負荷軽減を図るとともに、登山者が自ら歩き自然に親しみながら大山の環境を考えることができるよう、ボランティアによって頂上トイレの汚泥を担ぎ下ろす「大山キャリアダウン運動」、頂上付近の貴重な植物等を保護するため設置している木道の修繕に必要な栈木をボランティアで担ぎ上げる「大山キャリアアップ運動」を実施する。	鳥取県(西部環境建築局)	ポスターや掲示板等により協力金のPRを行い、前年度並みの金額が得られた。(R5:約434万、R6:501万、R7:501万円)
大山寺	「大山星空で遊ぶツアー」の販売を継続するとともに、星空観察に適した環境整備やガイドの育成を推進する。	大山観光局	育成したカメラマンと共に、催行日数の拡大と、よりお客様のニーズに合わせたプログラム内容の充実に向けた取組を進めた。これによりこの取り組みは終了とする。
大山寺	未利用の宿坊跡等の文化財を修繕し周遊拠点への活用を検討する。	大山町	金剛院についてはR7～9年度に整備を行い、R10年度のオープンを目指す。大山寺阿弥陀堂側エリアの周遊の拠点として公開活用を行う。理観院についてはR12年度以降の整備となる見込。
大山寺	日本遺産「大山」に関連したツアー等の開発、看板の設置、VRの活用等によって、日本遺産の認知度を高め、歴史的魅力を活用して集客を図る。	大山町	ガイドンス施設である大山町観光案内所において日本遺産紹介映像の上映、大山自然歴史館2階ではVRを含めた常設展示を行い日本遺産とストーリーについての情報発信を行っている。現代版牛馬市として「ドリームカーフェスタ」を実施し集客を図っていく。
大山寺	大山寺旧境内の文化財等の保存と活用に関する計画に基づいて、史跡大山寺旧境内の適切な保存管理と観光利用の推進を図る。	大山町	蓮浄院跡の石垣復旧工事に着手し令和7年度に完成。今後も計画に基づき、石垣復旧工事に取り組む。
大山寺	大山寺参道沿いや遊歩道等に設置されている自然や歴史文化的資産の解説板を多言語化し、外国人旅行者も親しめる環境整備を図る。	大山町	整備基本計画策定後、R5から史跡内の解説看板設置についての検討を開始した。解説看板はQRコード対応とし、多言語化した解説文はデジタルコンテンツ上で対応とし、既存看板にQRコードを追加した。
大山寺	南光河原駐車場の既設案内所を更新し、多言語表記による大型モニターでの情報発信機能や登山ポスト等を併設した総合案内所を整備し、大山ナショナルパークセンターと連携した安全・安心のアウトドア拠点施設とする。また、大山入山協力金の募金箱を設置し、取組の普及啓発と協力率向上の取組を実施する。	鳥取県(西部環境建築局)	旧料金所を解体し、情報発信モニターや登山ポストを備えた総合案内所1棟を整備した。(木造平屋建、延べ面積10.3㎡)

その他の取組(2)

地区	取組概要	実施主体	2025年度取組状況
大山寺	夜間利用者の安全性と景観の向上を図るため、大山寺参道における足下灯の整備を検討する。	大山町	参道の足下灯は、関係機関との調整を行いつつ夜間コンテンツ等の活用を視野に入れて整備方法の検討を続ける。
大山滝	大山滝吊橋の改修工事を実施するとともに、中国自然歩道(一向平～三徳山間)の歩道改修や標識整備等に取り組む。	鳥取県(中部環境建築局)	R5～6年度にかけてに計画地周辺における猛禽類調査等を実施、工事中の留意点等を取りまとめた。 R7年度工事着手、工食用道路施工。
奥大山・鏡ヶ成	鏡ヶ成湿原・草原の保全・再生と利活用のための取組を実施する。	江府町	・平成31年3月に関係機関・団体及び民間事業者で構成される「大山隠岐国立公園鏡ヶ成保全再生活用協議会」が設置され、以降、同協議会において、ボランティアの協力も得ながら湿原及び草原環境の保全・再生活動を実施。 ・令和5年度に、鏡ヶ成の目指す方向性をとりまとめた「鏡ヶ成ビジョン」及び「行動計画」を策定し、環境省HPで公表。 ・令和6年度、草原保全のための山焼きや選択的草刈りを継続実施しつつ、湿地環境の拡張を目指したササ刈り作業等を実施。自然共生サイトへの登録申請を視野に、協議会事務局を江府町に移管。 ・令和7年度、自然共生サイトに登録。
三徳山	休憩施設を新設するとともに、蜜坊駐車場におけるトイレの新設について、三朝町と連携して検討する。	鳥取県(中部環境建築局)	2022年～2024年度までは、キャンプ場の利用環境の水準向上(補助金による取組支援(和式トイレの洋式化、シャワールームの整備等))などを行った。また、県内キャンプ場の魅力を発信するホームページ「とりキャン」の検索機能や個別キャンプ場ページの充実、Instagramアカウントの開設など情報発信を行っている。
三徳山	観光客が安全に小鹿溪を散策できるよう、丸太階段や階段手摺の補修、トイレの水洗化など遊歩道や施設の整備を行う。	三朝町	2024年度に行なった小鹿溪遊歩道の災害復旧工事の完了を受け、2025年度は観光庁「地域観光資源の多言語解説整備支援事業」と文化庁「国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金」を活用して日本語と英語を併記した看板6枚(箇所)と、駐車場看板1枚を設置した。 しかし、県道部分に係る災害復旧工事が継続されており、2025年度末時点で遊歩道への立入が制限されている。
-	国内旅行者や、新型コロナウイルス感染症収束後のインバウンド向けに、これまでイベント実施等を通じて磨き上げを行ってきたサイクリングルートや大山古道、今後認定を目指すナショナルサイクリングルート等を活用した、近隣県(島根県、岡山県等)を周遊するルートの設定や社会実験等を検討、実施する。また、ジャパンエコトラックルートを活用して、インバウンド向けのPRの実施やツアーの磨き上げ、e-bikeを用いたツアーの商品化を進める。	大山山麓・日野川流域観光推進協議会	観光客の多様なニーズに応えるサイクリングツアー商品の造成・販売等を行い、継続的なサイクルツーリズム消費を喚起した。

その他の取組(3)

地区	取組概要	実施主体	2025年度取組状況
-	大山圏域で見られる光と影に着目し、星空、ホタル、各種ライトアップなど、地域の観光資源を活用した滞在型観光を促進する。	大山山麓・日野川流域観光推進協議会	大山山麓・日野川流域観光推進協議会としての取組は行わなかったが、米子市において、米子城跡をはじめ市内各所のライトアップやイルミネーションを行い、市内の夜の面的な魅力向上による滞在時間の延長や賑わいの創出を図った。
-	コロナ禍において注目の高いキャンプを切り口とした新たな客層を開拓し、鳥取県の観光客の増加に繋げるため、鳥取でのキャンプ「とりキャン」の魅力発信を行うことにより、キャンプ滞在に留まらない県内観光地等の周遊を促進するとともに、地域への消費拡大を促進する。	鳥取県(観光戦略課)	2022年～2024年度までは、キャンプ場の利用環境の水準向上(補助金による取組支援(和式トイレの洋式化、シャワールームの整備等))など行った。また、県内キャンプ場の魅力を発信するホームページ「とりキャン」の検索機能や個別キャンプ場ページの充実、Instagramアカウントの開設など情報発信を行っている。
-	新型コロナウイルス感染症の状況や旅行者の動向等を注視しつつ、状況に応じた二次交通スキームを運行する。あわせて公共交通が整備されていない観光施設等への交通の確保に努める。	大山山麓・日野川流域観光推進協議会	観光マイスター資格を持つドライバーが乗務する観光周遊タクシーの通年運行を実施するとともに、インバウンド向けに多言語版パンフレットの作成等を行い、乗客の利便性や満足度向上を図った。
-	ユーザー目線で明快かつ確実性の高い誘導を図るため、各種誘導看板やサイン(路面標示等)を設置し、ユーザーの利便性を飛躍的に向上させ、サイクルツーリズムの聖地化を目指す。	鳥取県(西部県民福祉局)	白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコースの清掃とサイクリングコースへ愛着を持っていただくため、行政、関係団体、民間事業者で協働で清掃活動を行う「弓ヶ浜サイクリングコースきれいに守り隊」と、県がサイクリングコース応援隊として認定した自治会等民間団体による自主的な清掃活動に対して報奨金を支給する「住民参画型環境美化活動推進事業」を継続して実施した。
-	大山開山1300年で再興した、歴史遺産や祭、文化、自然、食等の優れた観光資源を活かした、大山ブランドのイメージ向上、定着に向けた取組を支援する。	大山山麓・日野川流域観光推進協議会	鳥取県中西部11市町村のブースが出展した「つながるマルシェin角盤町」の開催支援を行った。 大阪・関西万博会場内で鳥取県が開催した「とっとりフェス」に出展し、観光PR展示のほか、ミニステージやワークショップスペースを活用したPRを行った。「地蔵信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市」について日本遺産フェスティバルへの参加等による情報発信を実施した。